



操作ガイド

インストールの手順

1. 管理者権限のあるアカウントで Windows にログインしてください。
2. 起動中の他のアプリケーションがあれば終了してください。
3. **RebroViewer** インストールメディアをパソコンの光学ドライブにセットすると、PC に合わせて 32bit 版か、64bit 版のインストーラが自動的に起動します。※インストーラが起動しない場合は、マイコンピュータまたはエクスプローラでインストールメディア内を表示し、「RebroViewerInstaller.exe」を実行します。
4. **RebroViewer** を起動させるために必要なソフトウェア (Microsoft .NET Framework 4.0、Microsoft VisualC++2012 Update 4 再頒布可能パッケージ)がインストールされます。
※ユーザーアカウント制御のダイアログは「許可」を選択してください。
5. 使用許諾契約書が表示されますので、内容をご確認いただき、同意の場合は「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、[次へ]をクリックします。
以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
6. インストール完了後に **RebroViewer** を起動すると、インターネットを通じて最新のバージョンが存在するか確認されます。最新版があれば Web アップデートが起動します。
※ユーザーアカウント制御のダイアログは「許可」を選択してください。また、お使いのセキュリティソフトでインターネット接続が遮断される場合は「RebroViewerUp.exe」の通信を許可してください。

アンインストールの手順

[スタートメニュー]―[コントロールパネル]―[プログラム]―[プログラムと機能]を起動します。
[RebroViewer]を選択し、[アンインストール]をクリックします。

※ユーザーごとの設定ファイルは **RebroViewer** を再インストールしても利用できるように、パソコンに残ります。設定を削除する場合は以下のフォルダを削除してください。

C:\¥ユーザー¥(ログインユーザー名)¥AppData¥Local¥NYK Systems¥RebroViewer LocalData

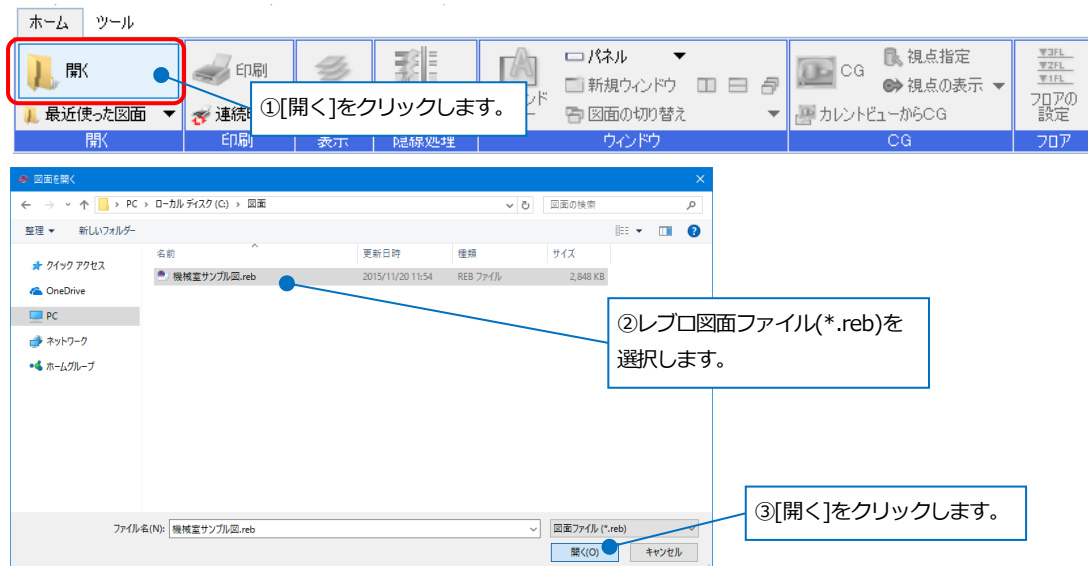
動作環境

OS:Microsoft Windows10、Windows 8/8.1、Windows 7 SP1、(64bit、32bit 対応)
グラフィック:DirectX9 が快適に動作するグラフィックボード、もしくはオンボードチップ
ディスプレイ解像度:1280×1024(800)ドット以上
インターネット接続環境:必須(Web アップデートに使用)

-
- RebroViewer** は再配布可能な無償ビューアです。
 - RebroViewer** は常に最新バージョンでご利用ください。図面を作図した「レブロ」より古いバージョンの「ビューア」を使用した場合、「レブロ」側で新しく追加された機能について正しく表示されない場合があります。
 - RebroViewer** に関しての個別サポートは対応いたしかねます。

1.図面を開く

レプロ図面ファイルを開きます。



2.表示の設定

画面の拡大、縮小、移動

・拡大/縮小

マウスの位置を中心に、ホイールの回転で画面を拡大、縮小します。

・指定拡大

拡大したい範囲を右ドラッグします。

※End キーで1 つ前の表示範囲に戻ります。

・画面移動

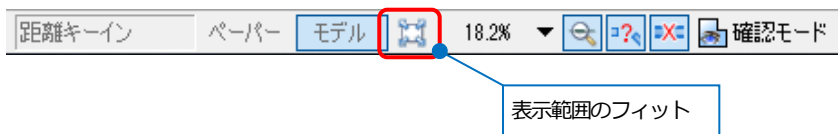
↑↓←→キーを押します。

ホイールのドラッグで画面を移動します。

画面の右と下に配置しているスクロールバーのドラッグでも移動します。

・全体表示

ステータスバーの[表示範囲のフィット]ボタンをクリックまたはHome キーを押します。



背景色の変更

背景色は白色、または黒色のどちらかを選択できます。



レイヤーの表示を切り替える

レイヤーごとに表示、非表示の切り替えができます。

①[レイヤー一覧]をクリックします。

②表示、非表示を切り替えるレイアウトやビューを選択します。

③[表示]のアイコンをクリックし、設定を変更します。

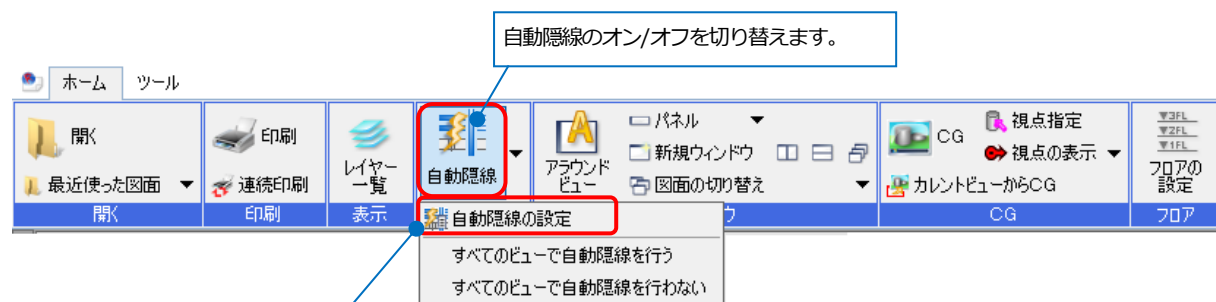
④[OK]をクリックします。

パネルで操作することもできます。

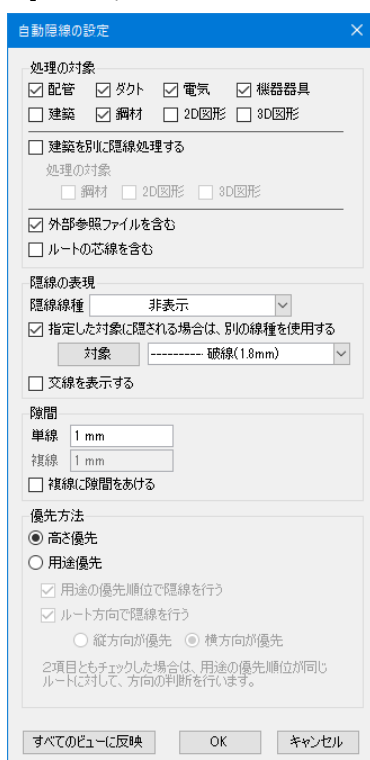
①[パネル]-[レイヤー]をクリックします。

自動隠線の設定

開く図面に自動隠線が設定されている場合は、その設定が反映されます。

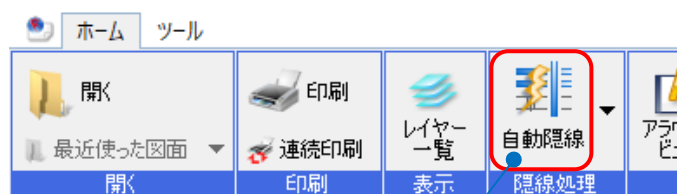


自動隠線の設定は[自動隠線]横の[▼]-[自動隠線の設定]から確認/変更ができます。



● 補足説明

[手動隠線]が設定されている図面の場合



隠線処理はされていますが、自動隠線はオフの状態です。

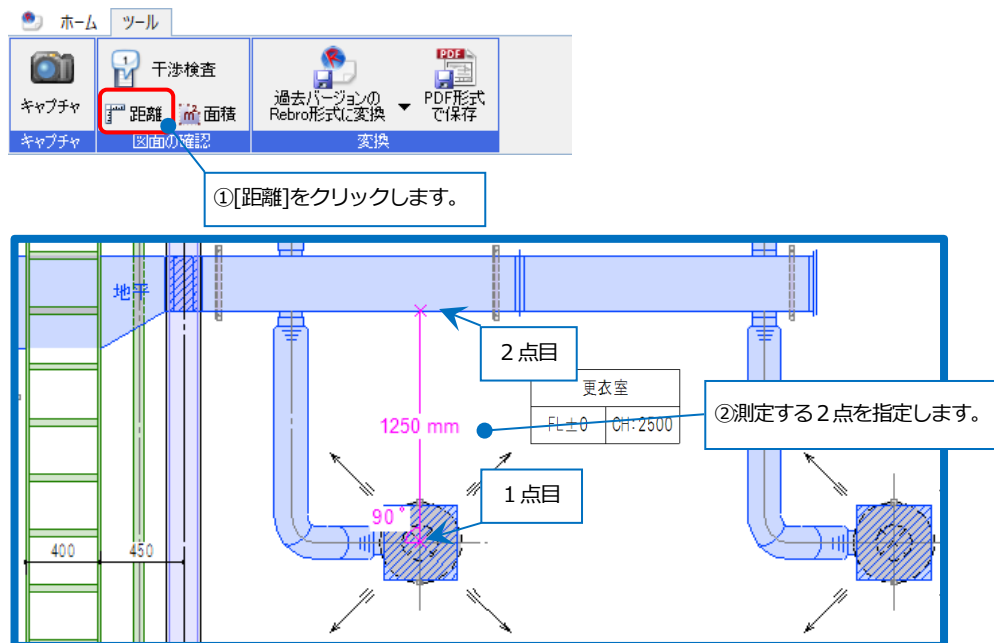
手動隠線を設定している図面に自動隠線処理をすると、自動隠線の設定内容に切り替わります。

再度手動隠線の状態を確認する場合は、図面を開きなおしてください。

3.図面の確認

距離・角度の測定

指定した2点間の距離、座標値を求めることができます。



[距離]の場合

ホーム ツール 距離、角度の測定

☒ 2点指定
 ☐ 連続指定
 ☐ 2要素指定

測定方法

距離	角度	水平	垂直	高さ・奥行き
1250	90	0	1250	0

測定結果

☒ 距離
 ☐ 座標値

合計距離 1250 mm

☒ 測定結果をクリップボードにコピーする

測定結果に指定した2点の距離が表示されます。

[座標値]の場合

ホーム ツール 距離、角度の測定

☒ 2点指定
 ☐ 連続指定
 ☐ 2要素指定

測定方法

距離	角度	X座標	Y座標	Z座標
1250	90	10960	2850	2750

測定結果

☐ 距離
 ☒ 座標値

合計距離 1250 mm

☒ 測定結果をクリップボードにコピーする

測定結果に指定した2点の座標値と距離が表示されます。

面積の測定

頂点を指定して面積を測定します。

①[面積]をクリックします。

②頂点を指定し、[確定]をクリックします。

③測定結果がリボンに表示されます。

測定方法: 直線, 円弧(2点)

測定結果: 合計面積 0 m²

測定結果: 26.59 m²

フロアの確認

図面に設定されているフロア高さを確認できます。

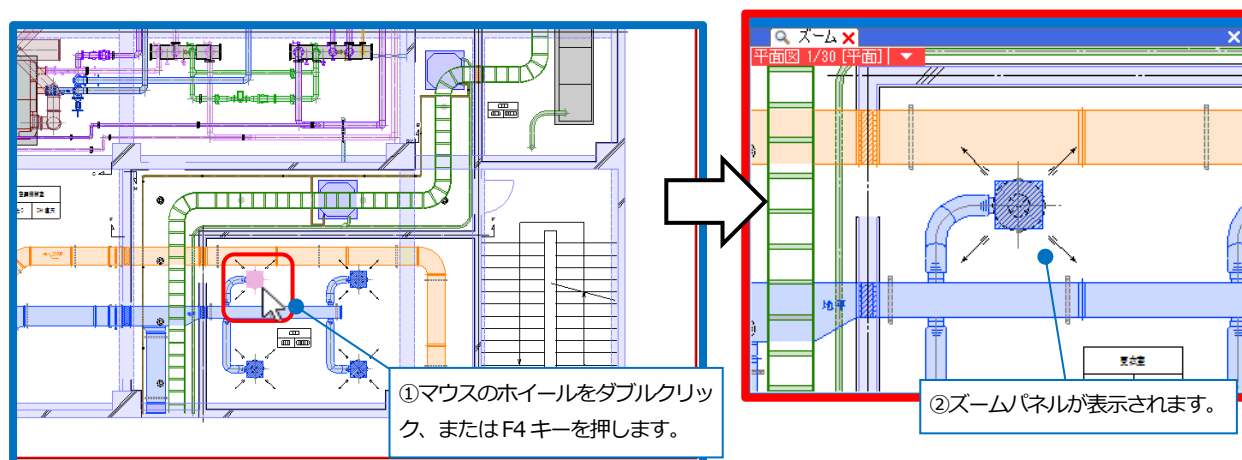
①[フロアの設定]をクリックします。

②階床名と階高の一覧を確認できます。

階床名	階高	Z座標値
RFL		19000
5FL	3800	15200
4FL	3800	11400
3FL	3800	7600
2FL	3800	3800
1FL	3800	0
GL	350	-350

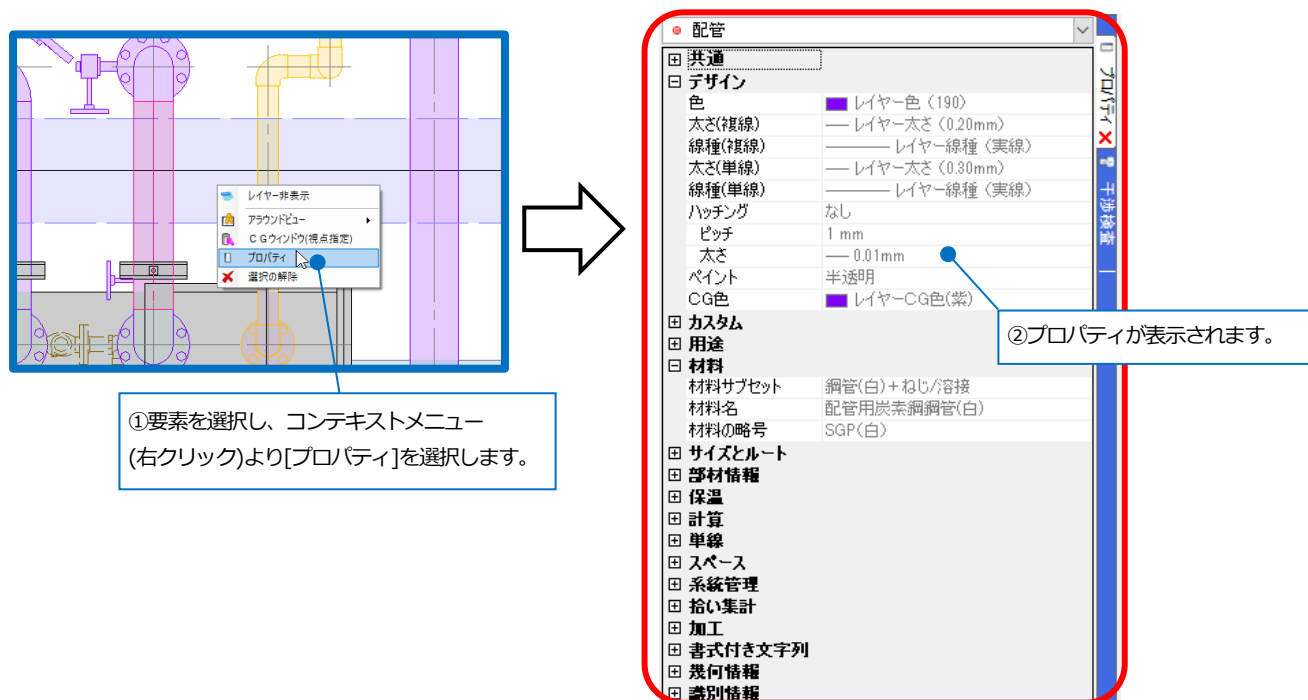
ズームパネル

図面上のマウスカーソル位置周辺を拡大表示します。



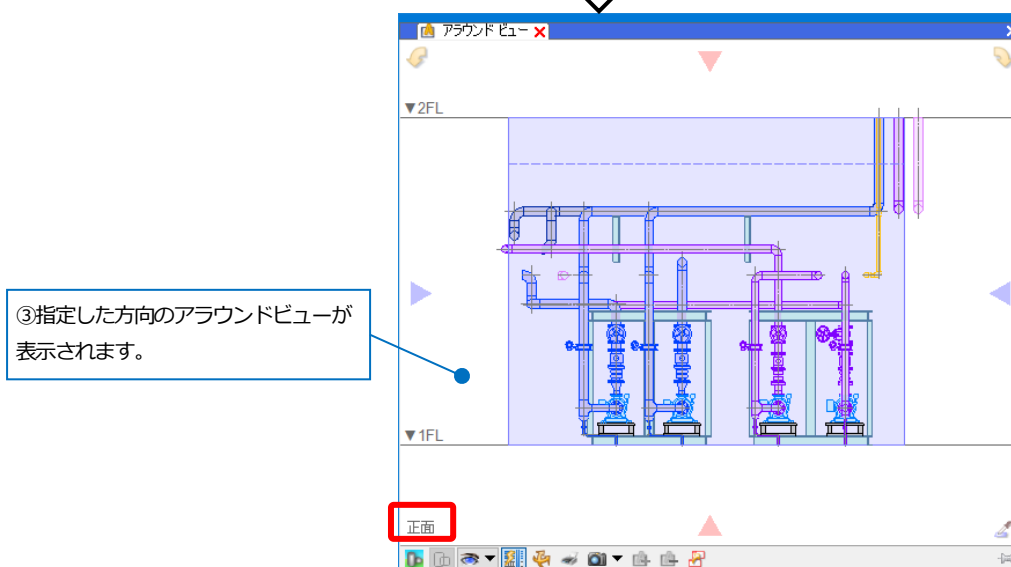
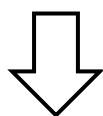
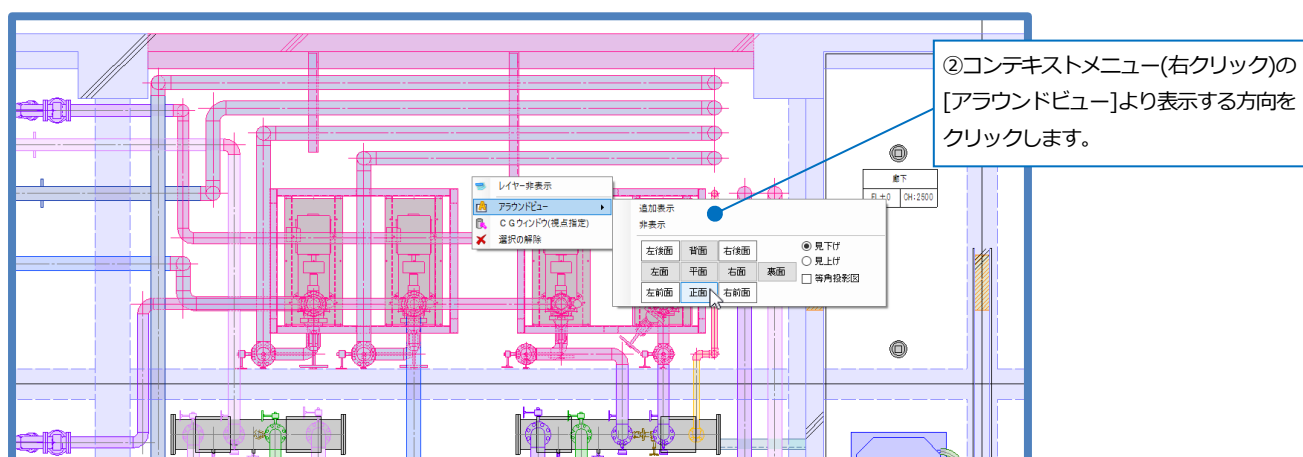
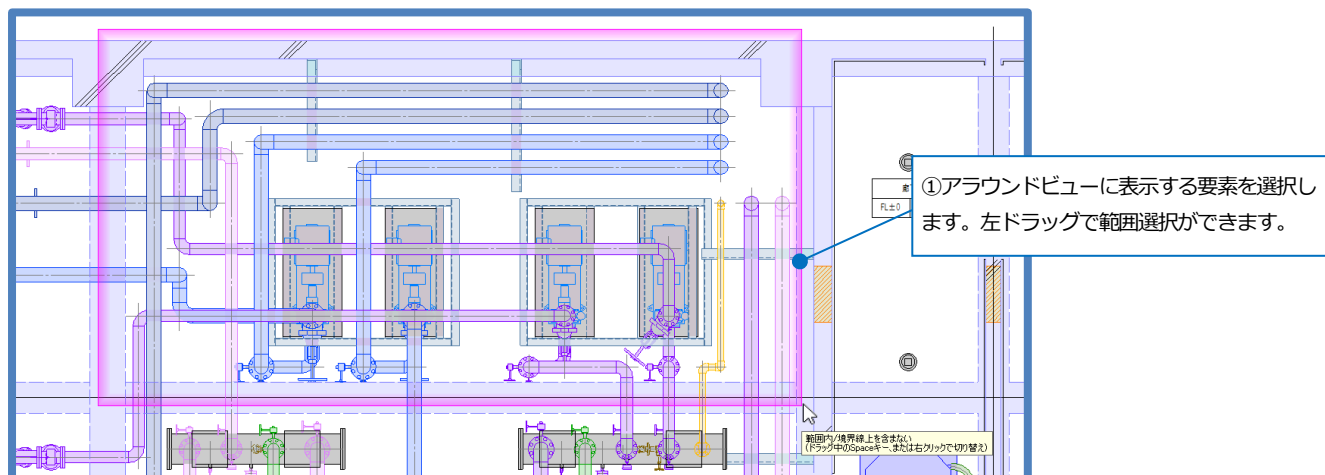
プロパティ

要素の属性の確認ができます。

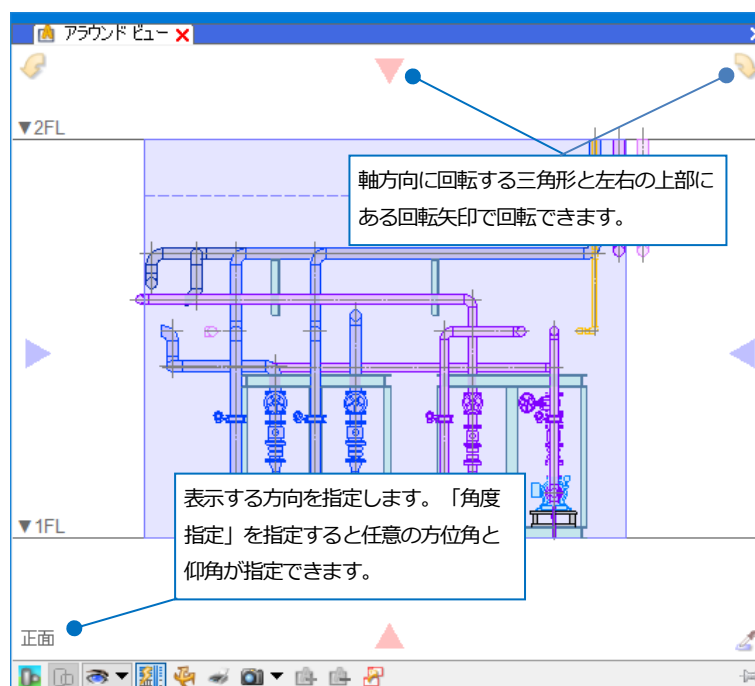


アラウンドビュー

選択した要素を別の方向から表示することができます。



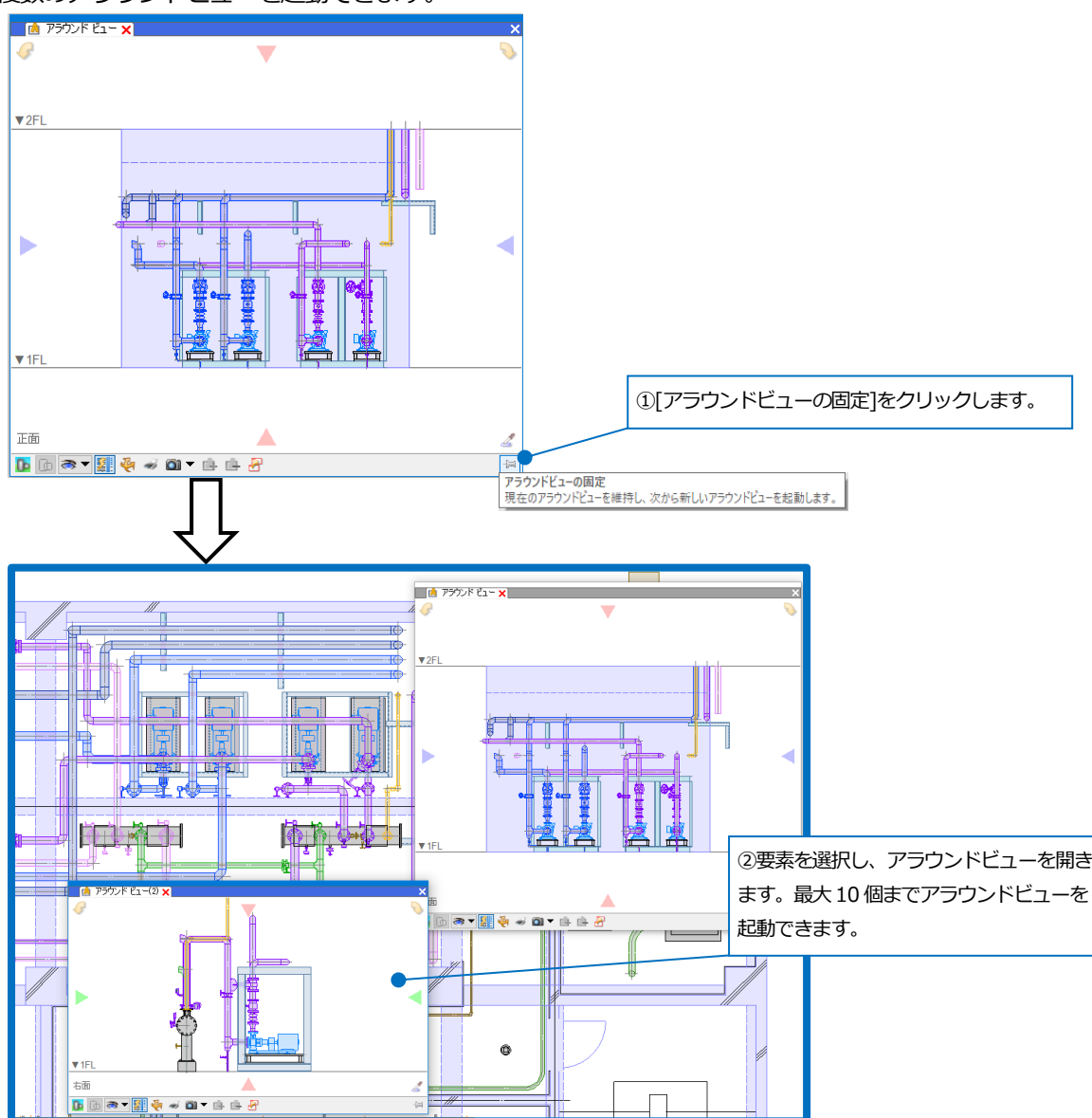
アラウンドビュー上で視点の切り替えをすることができます。



	スポイトボタンをクリックし、図面上の線を選択すると、線の角度に合わせて視点を変更できます。
	アラウンドビューをCG表示に切り替えます。
	アラウンドビューのCG表示の透明度を変更します。
	要素の表示/非表示 追加表示 ☐ ビュー専用 ☐ 平面ビュー共通 補助線 ☐ グリッド表示 設定 ☒ 通り芯 ☒ フロア線 単線/複線 ☐ 複線表示 ☐ 単線表示 ☒ 元のまま アラウンドビューの表現を切り替えます。 [要素の表示/非表示]要素タイプごとの表示/非表示とアラウンドビューのCGの透明度の設定ができます。 [追加表示]ビュー専用要素・平面ビュー共通要素の表示/非表示を切り替えることができます。 [補助線]グリッド、通り芯、フロア線の表示/非表示を切り替えることができます。 [単線/複線]アラウンドビュー上で単線、複線を切り替えることができます。
	自動隠線のオン/オフを切り替えます。
	オンの状態で、マウスの右ドラッグでアラウンドビューを旋回します。要素を選択すると選択した要素を中心にして旋回できます。
	アラウンドビューを印刷します。

	画像ファイルとして保存します。 [ファイルに保存]BMP、JPEG、GIF、TIFF、PNG の画像形式で保存できます。 [クリップボードに保存]Word や Excel に貼り付けることができます。 [メールで送信]保存した画像をメールで送信します。[メール送信先の設定]をクリックし、宛先、件名、本文を入力します。 [解像度の設定]キャプチャする画像の解像度を設定することができます。
	選択した要素を現在のアラウンドビューに追加表示します。
	選択した要素を現在のアラウンドビューから非表示にします。
	同じ表示状態のアラウンドビューを起動します。

複数のアラウンドビューを起動できます。



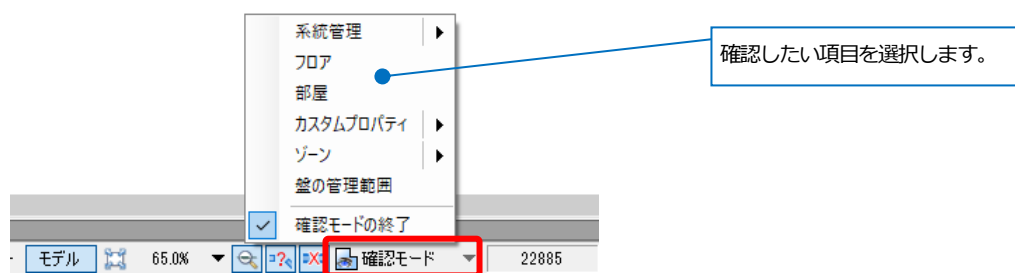
①[アラウンドビューの固定]をクリックします。

アラウンドビューの固定
現在のアラウンドビューを維持し、次から新しいアラウンドビューを起動します。

②要素を選択し、アラウンドビューを開きます。最大 10 個までアラウンドビューを起動できます。

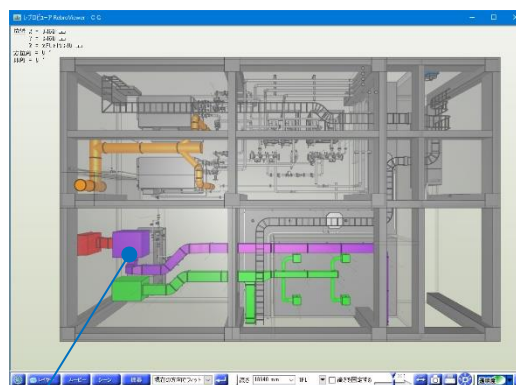
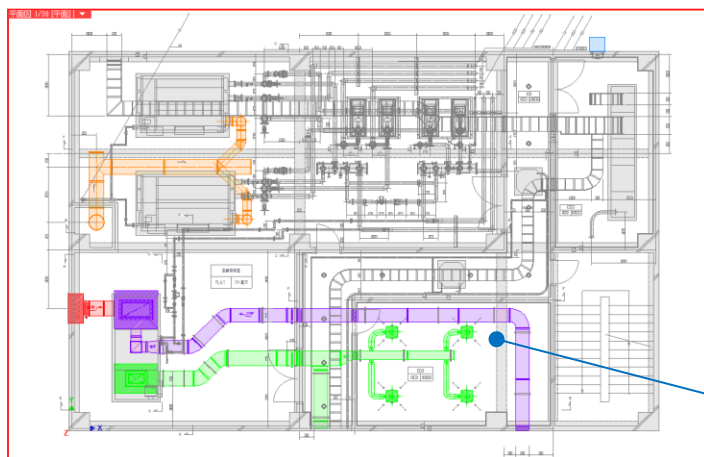
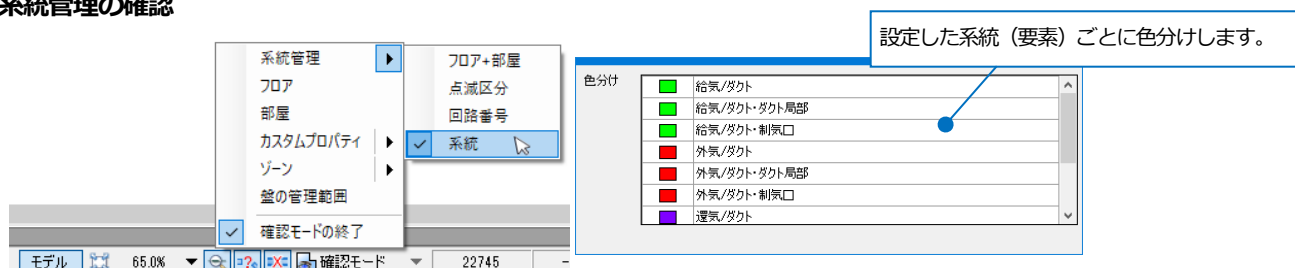
確認モード

[確認モード]をクリックすると、システム管理や部屋、カスタムプロパティなどが設定されている場合、図面やCGを色分けして表示することができます。



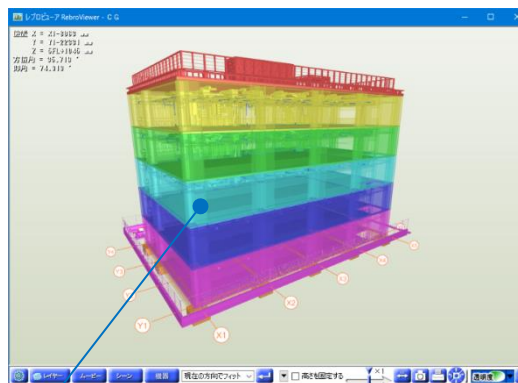
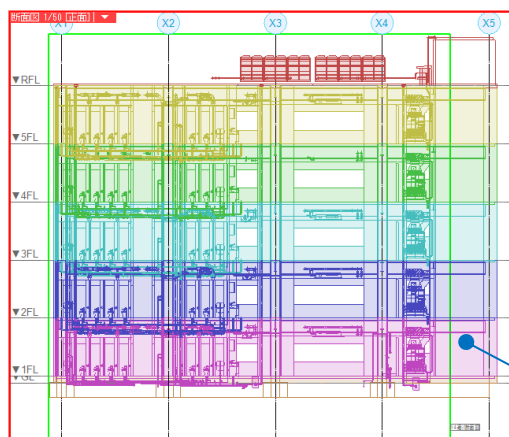
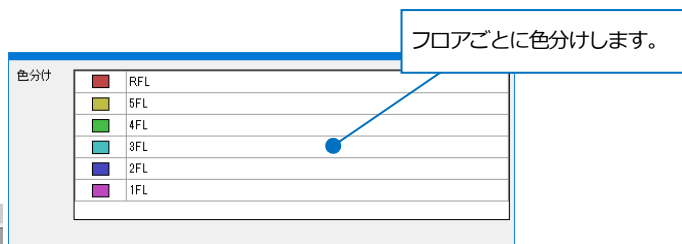
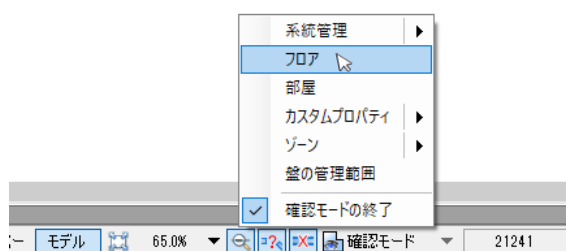
各色分け、カスタムプロパティやゾーンの種類などは「確認モード」アイコン横の「▼」から確認します。

システム管理の確認

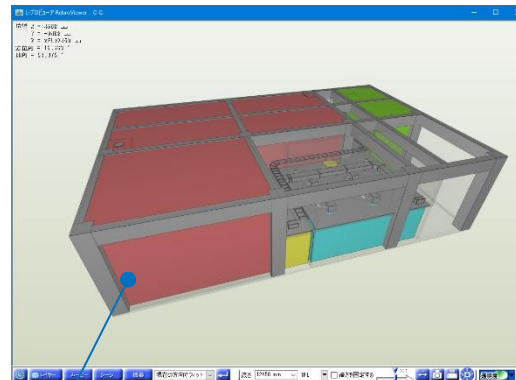
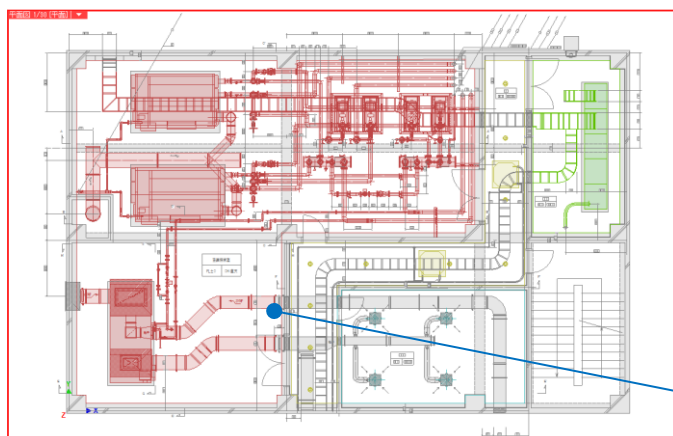
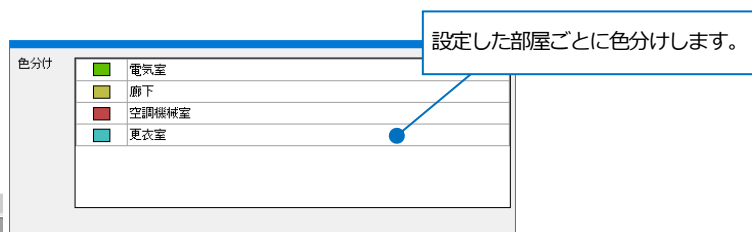
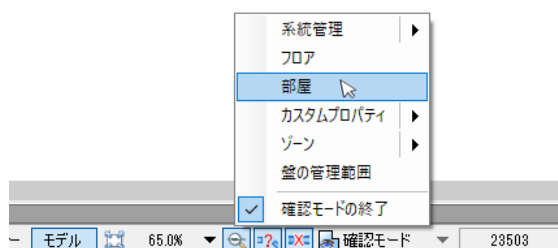


設定した系統（要素）に色がつきます。

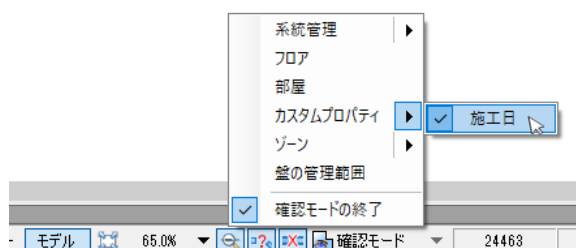
フロアの確認



部屋の確認



カスタムプロパティの確認



プロパティ
色分け

色分け	施工日
■	10/1(水)
■	10/5(日)
■	10/10(金)
■	10/15(水)
■	10/20(月)
■	10/25(土)

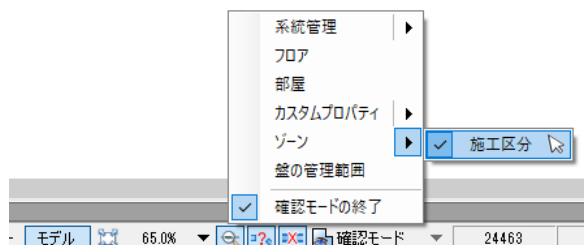
プロパティを選択します。表示はプロパティの項目ごとに色分けされます。

プロパティに設定された値と色の一覧を確認できます。



カスタムプロパティを設定した要素に色がつきます。

ゾーンの確認

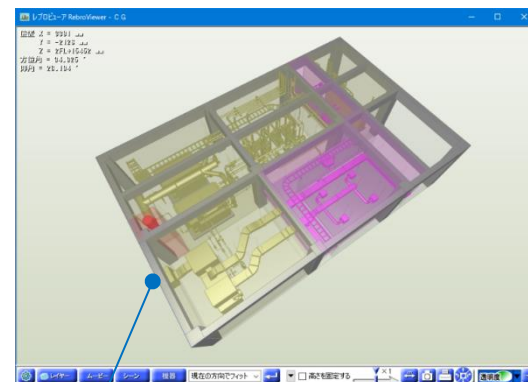
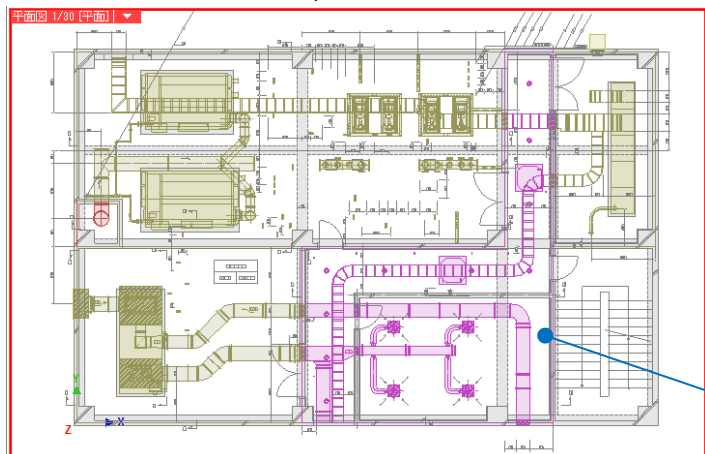


種類
色分け

種類	施工区分
■	シャフト内
■	屋外露出
■	屋外埋設
■	屋外機器周り
■	屋内露出
■	屋内隠蔽

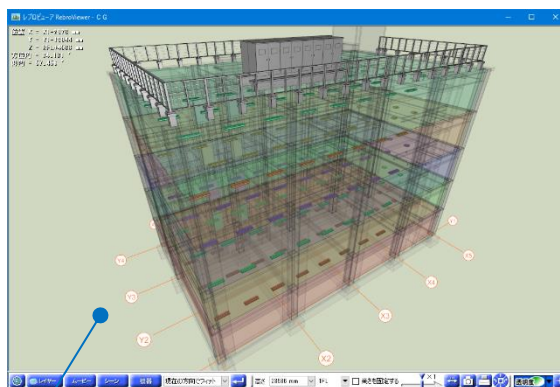
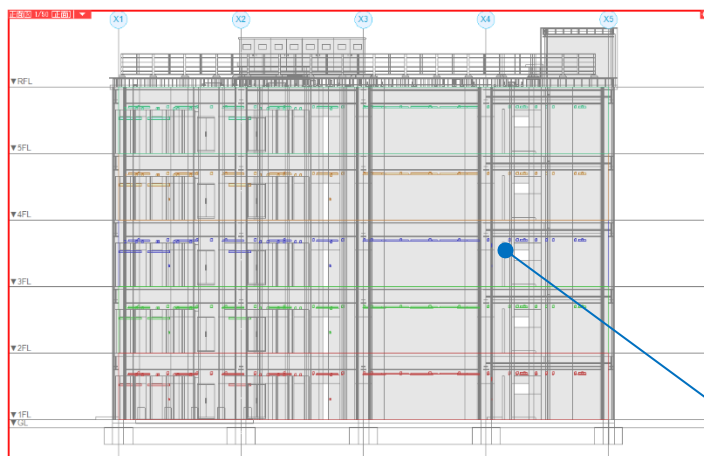
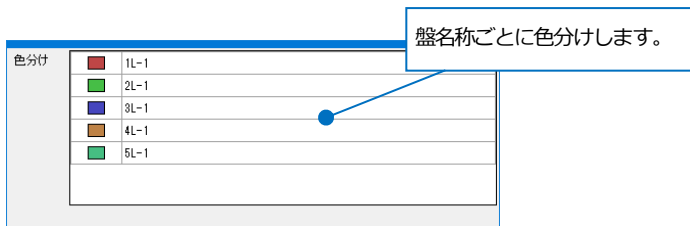
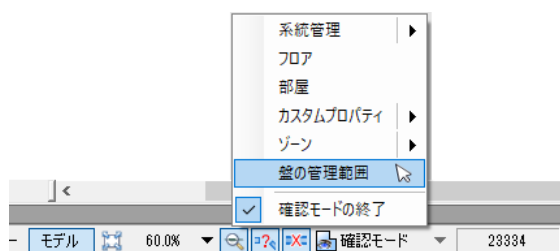
設定した種類から選択します。種類ごとに色分けを行います。

設定内容の名称と色の一覧を確認できます。



ゾーンごとに要素に色がつきます。

盤の管理範囲の確認



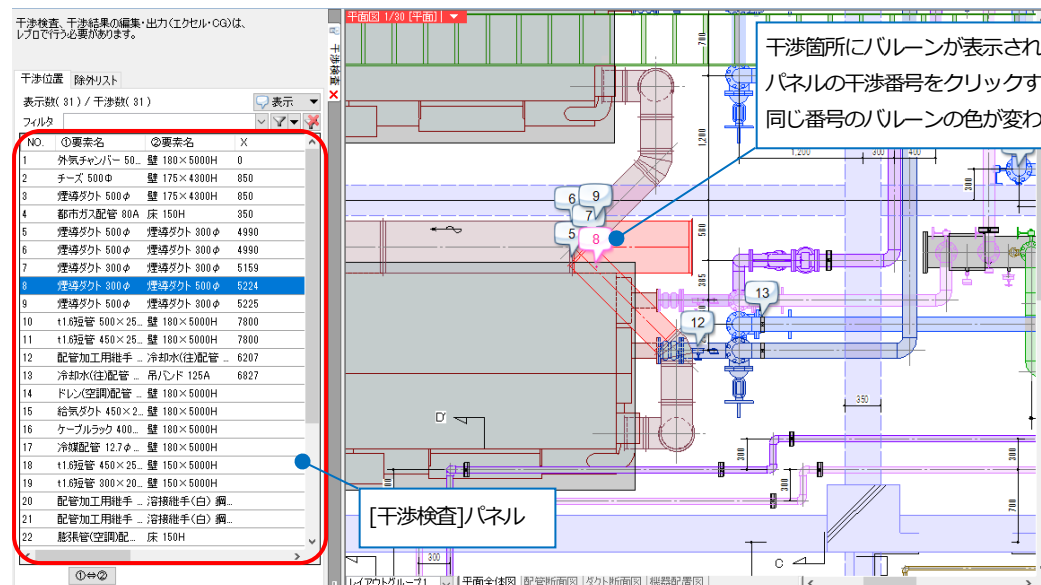
管理範囲を設定した要素に色がつきます。

干渉検査

レブロで干渉検査した図面を開くと干渉検査の結果を確認することができます。



[干渉検査]をクリックすると、
[干渉検査]パネルが開きます。



干渉箇所にバレーンが表示されます。
パネルの干渉番号をクリックすると、
同じ番号のバレーンの色が変わります。

[干渉検査]パネル

干渉検査、干渉結果の編集・出力(エクセル・CG)は、
レブロで行う必要があります。

干渉位置 除外リスト

表示数(31) / 干渉数(31)

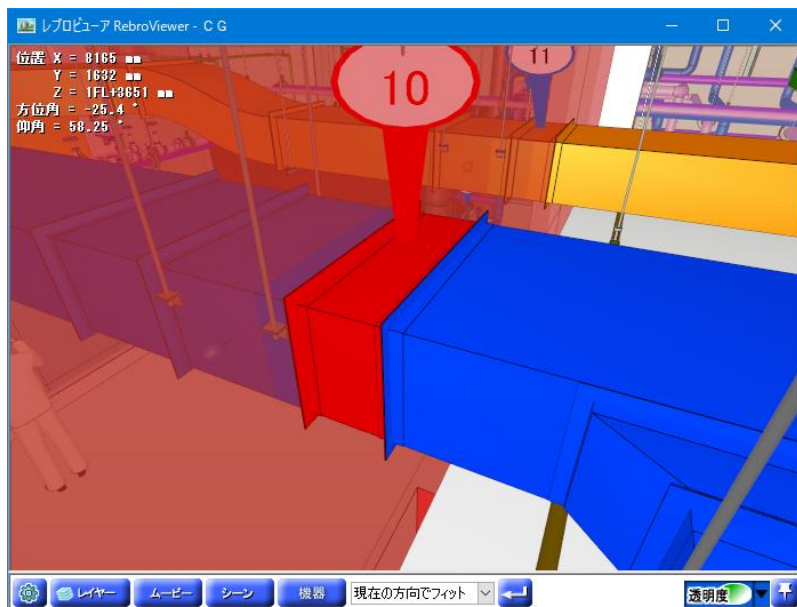
フィルタ

NO.	①要素名	②要素名	X	Y	Z	干渉量(上)	干渉量(下)
1	外気チャンバー 50...	壁 180×5000H	0	4100	1FL+3100	2501	3701
2	チーズ 500φ	壁 175×4300H	850	7550	1FL+3800	776	4076
3	煙導ダクト 500φ	壁 175×4300H	850	7725	1FL+3800	776	4076
4	都市ガス配管 80A 床 150H		350	7825	1FL+4925	1723	150
5	煙導ダクト 500φ	煙導ダクト 300φ	4990	8812	1FL+3800	378	378
6	煙導ダクト 500φ	煙導ダクト 300φ	4990	9149	1FL+3800	284	284
7	煙導ダクト 300φ	煙導ダクト 300φ	5159	8980	1FL+3800	263	263
8	煙導ダクト 300φ	煙導ダクト 500φ	5224	8756	1FL+3742	419	419
9	煙導ダクト 500φ	煙導ダクト 300φ	5225	9174	1FL+3761	412	412
10	t1.6短管 500×25...	壁 180×5000H	7800	2400	1FL+3125	2001	1151

図面上の干渉箇所の表示/非表示、
バレーンの形状を切り替えます。

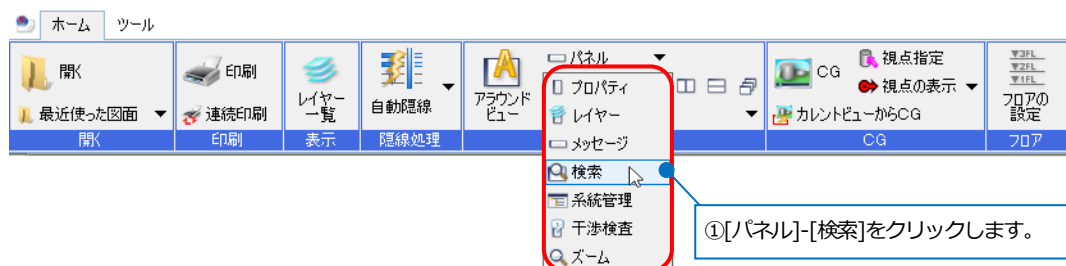
リストをクリックすると、干渉量が
確認できます。

リストまたはパネレンをダブルクリックすると、CG 画面が表示され、干渉箇所に関点を近づけます。

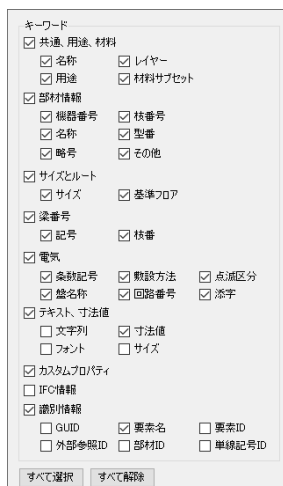


検索

キーワードを入力すると、図面から文字や部材などを検索することができます。



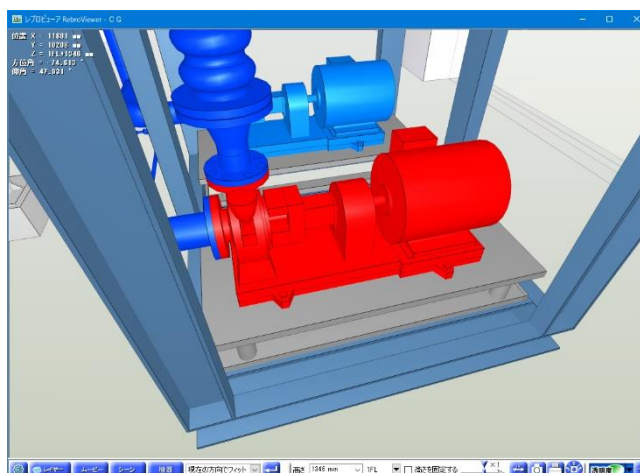
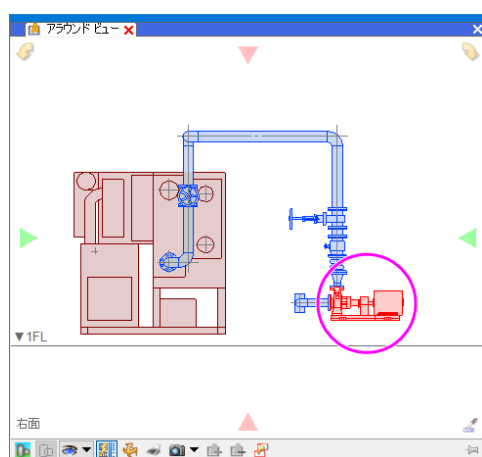
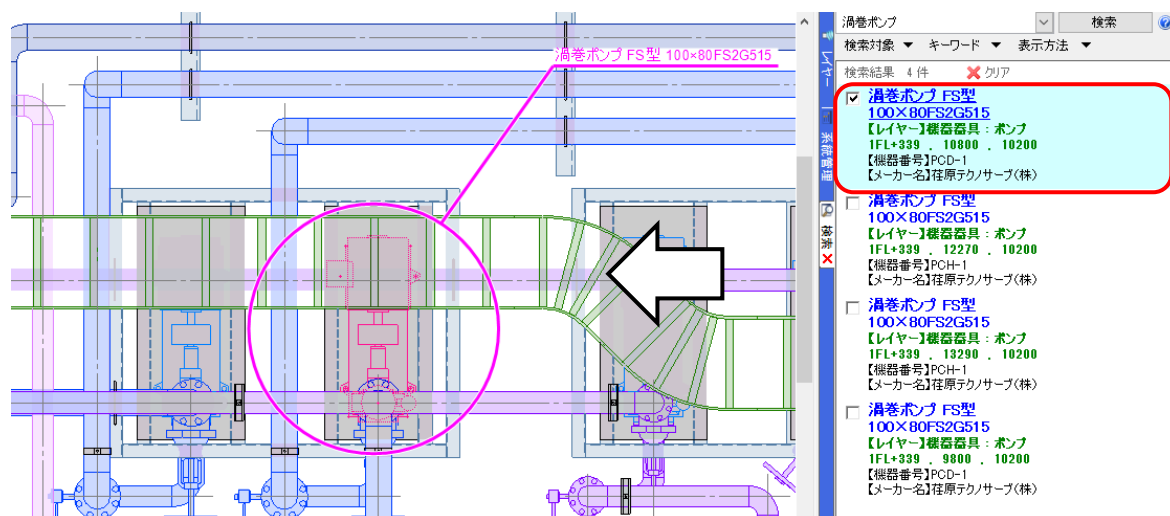
プロパティ項目のキーワードを絞り込みます。



②キーワードを入力し、[検索]をクリックします。

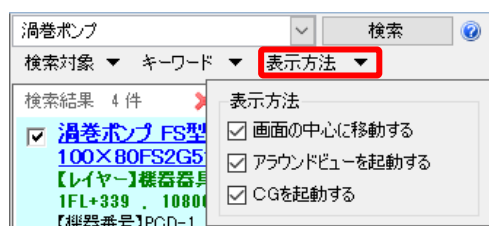
③一致する要素が一覧で表示されます。

検索結果から部材を選択すると、図面、アラウンドビュー、CGで部材を確認することができます。



Memo

[表示方法]をクリックすると検索結果リストを選択した際に、CG やアラウンドビューを表示させるかどうかを選択することができます。



キャプチャ

レブロの画面の指定した範囲を画像として保存できます。



①[キャプチャ]をクリックします。



解像度を設定して保存できます。

[ファイルに保存]

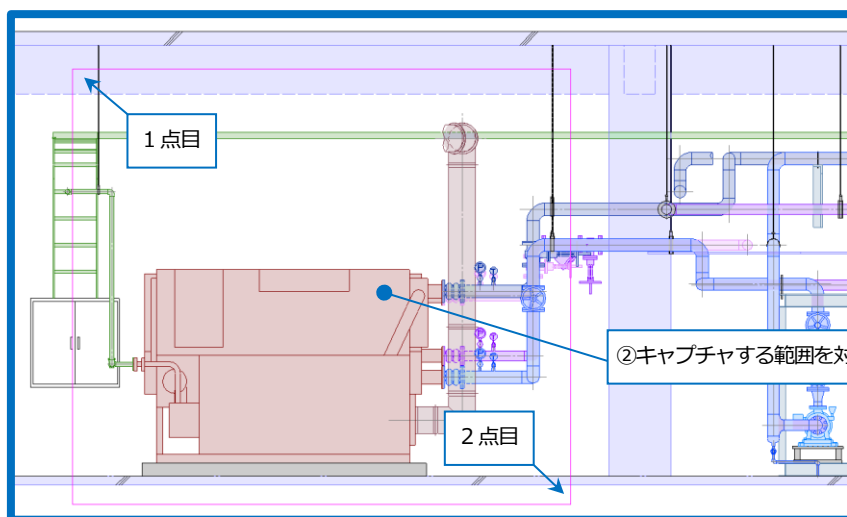
BMP、JPEG、GIF、TIFF、PNG の画像形式で保存できます。PDF 形式に保存もできます。

[クリップボードに保存]

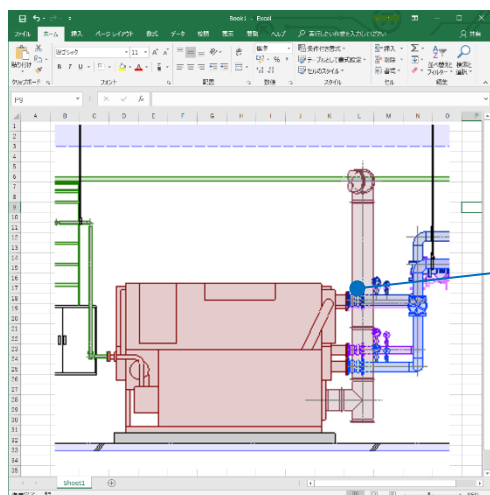
Word や Excel に貼り付けることができます。

[メールで送信]

保存した画像をメールで送信します。[設定]をクリックし、宛先、件名、本文を入力します。

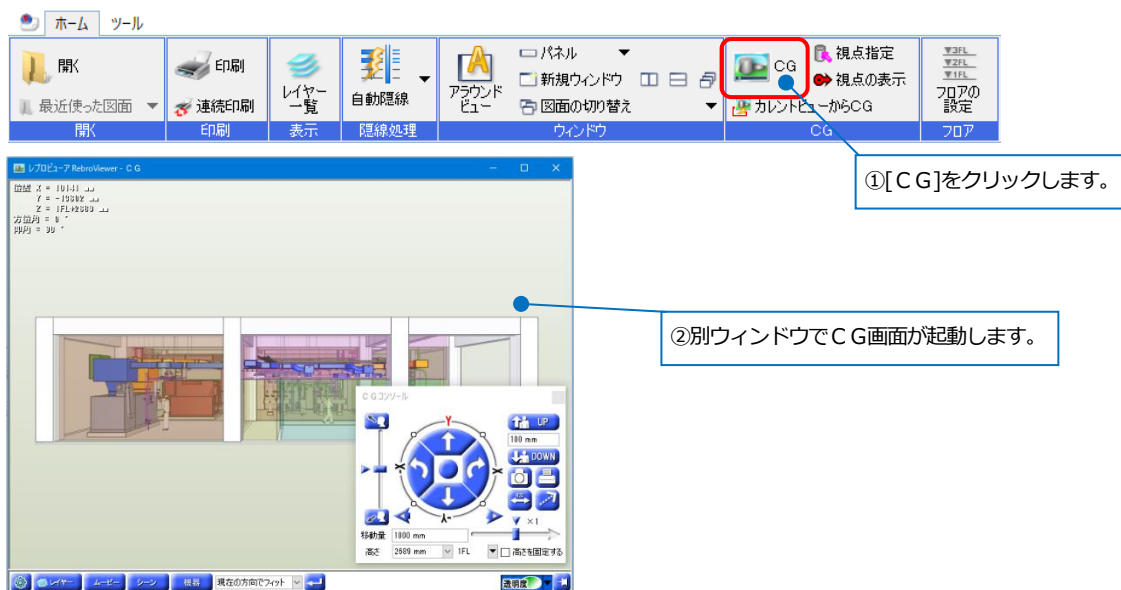


②キャプチャする範囲を対角2点で指定します。



③保存方法を[クリップボードに保存]にすると Word や Excel にキャプチャ画像を貼り付けることができます。

4.CG



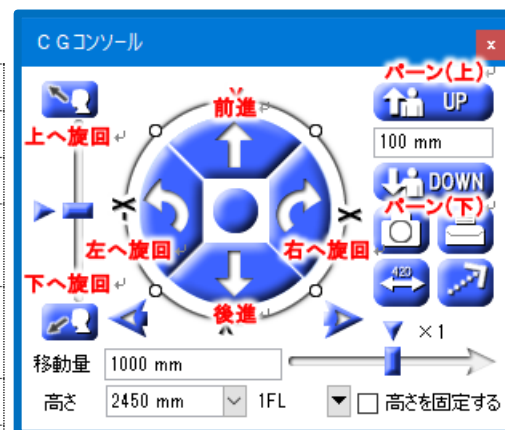
マウス操作

ホイール	回転で前進、後進。ドラッグで画面を移動します。
左ドラッグ	現在の位置を中心に上下左右に旋回します。
右ドラッグ	マウスを合わせた位置(要素上)を中心に回転します。
左ダブルクリック(スweep)	指定要素に視点を近づけます。
右ダブルクリック	画面を水平にします。

※Ctrl キーを押しながらホイールを回すと2倍の距離で移動します。

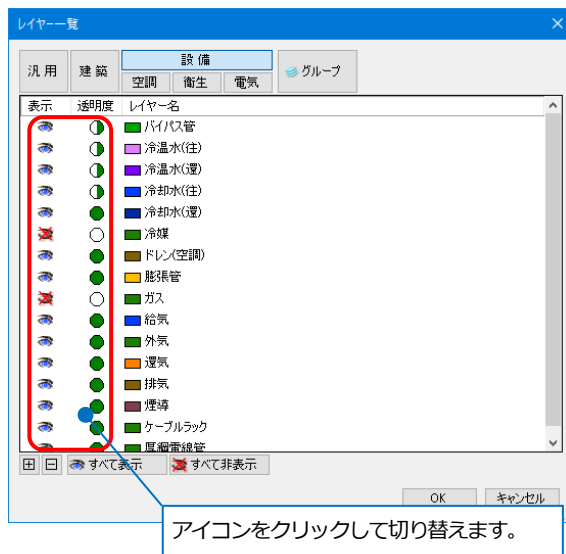
CGコンソールパネルでの操作

前進／後進	視点を前方、後方に移動します。
左へ旋回／右へ旋回	視点を左、右側に旋回します。
上へ旋回／下へ旋回	視点を上、下側に旋回します。
スライダー	画面移動の速度と移動量を調整します。
移動量	移動距離を指定します。前進、後進移動で、1クリックのピッチとして設定します。
パーン(上)(下)	視点を入力数値ごとと上下に移動します。
パーン(左)(右)	視点を左右に移動します。
高さ	フロア名を選択し、視点の高さを直接入力して画面を移動します。
高さを固定する	チェックを入れると、現在の高さを固定して前進、後進、左右に移動します。



レイヤー

CG画面上でのレイヤーの表示/非表示、透明度を設定できます。



[表示]のアイコンをクリックして、設定を変更します。

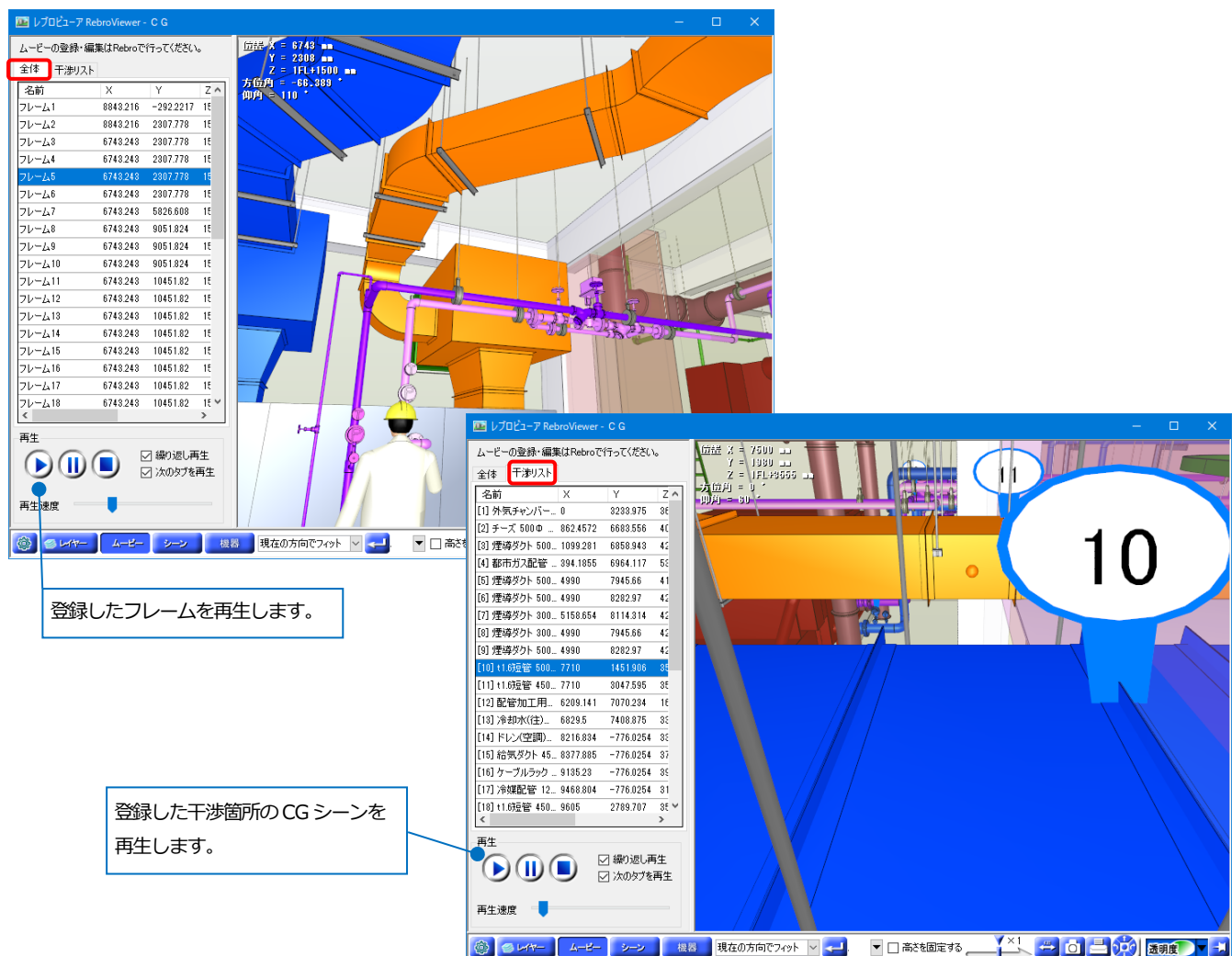


[透明度]はアイコンのクリックで切り替えます。白の割合が多くなると透明度が上がります。



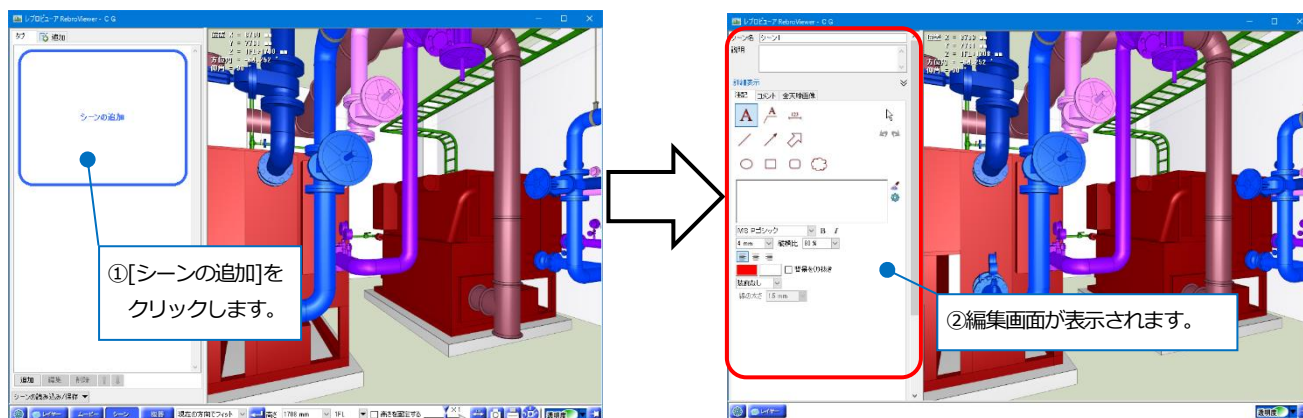
ムービー

レブロで作成したムービー、[干渉検査]で出力した[CG ムービー出力]を再生することができます。

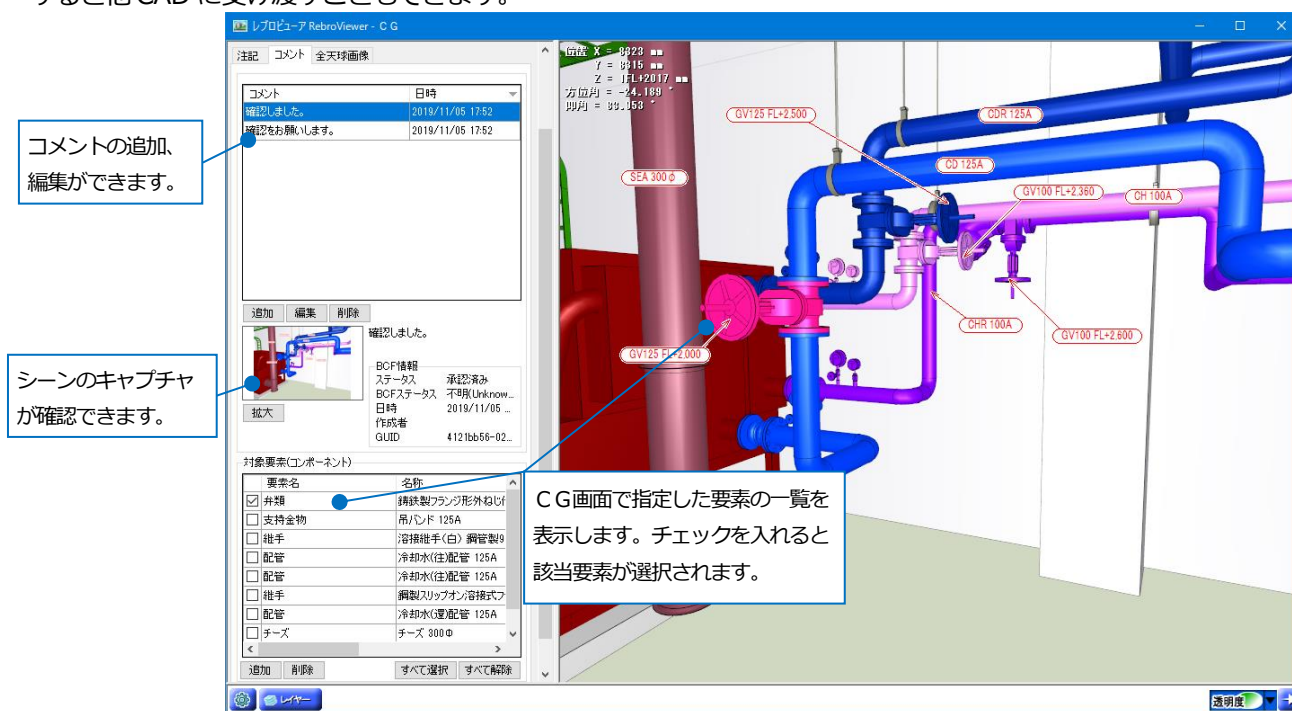


シーン

現在表示している CG 画面をシーンとして登録し、[注記]タブで文字や寸法線、図形を書きこむことができます。登録したシーンは印刷することや、保存してレブロに受け渡しをすることができます。

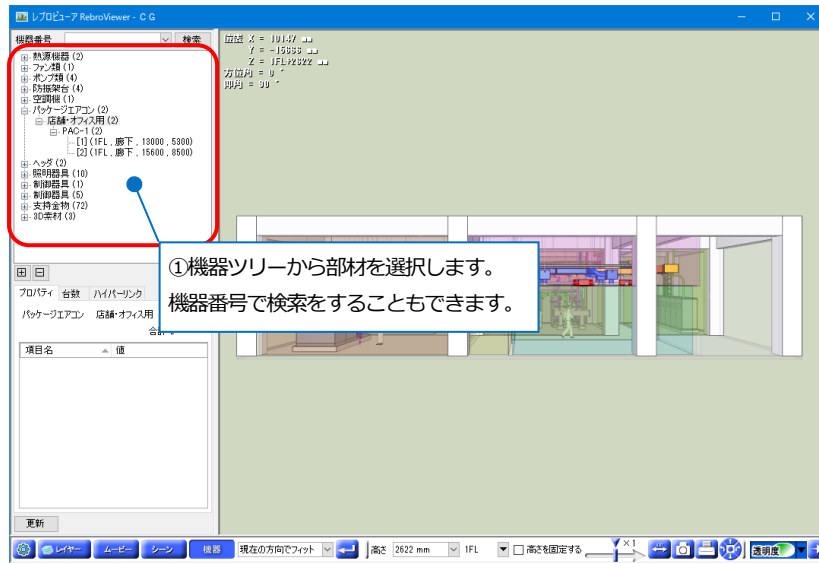


[コメント]タブからシーンに関するコメントのやりとりができます。レブロへの受け渡しや BCF で保存/読み込みをすると他 CAD に受け渡すこともできます。

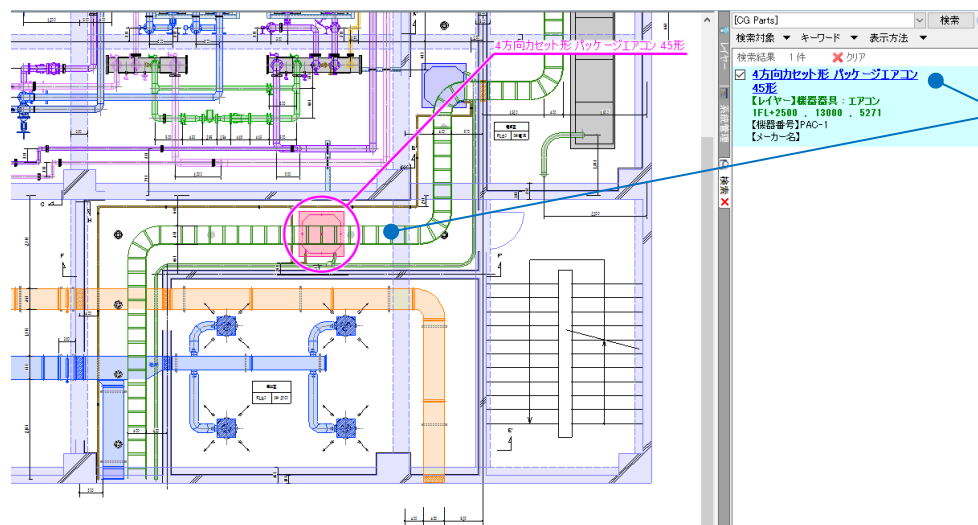
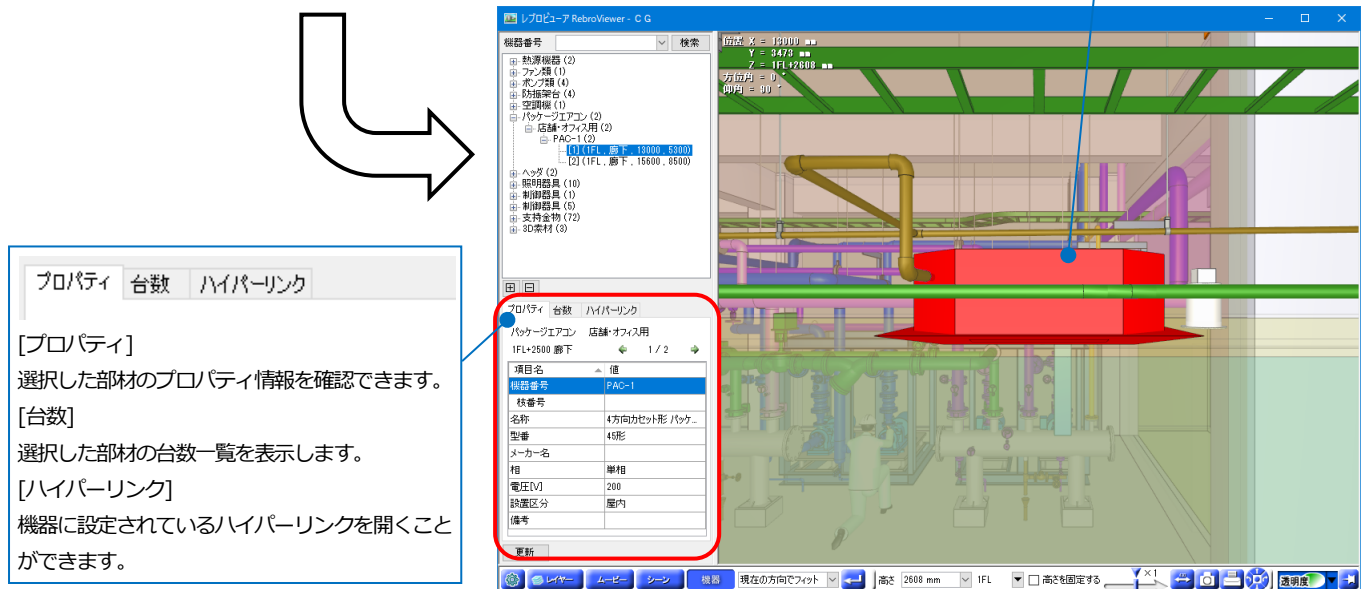


機器

配置された部材の位置をCG、図面上で確認できます。

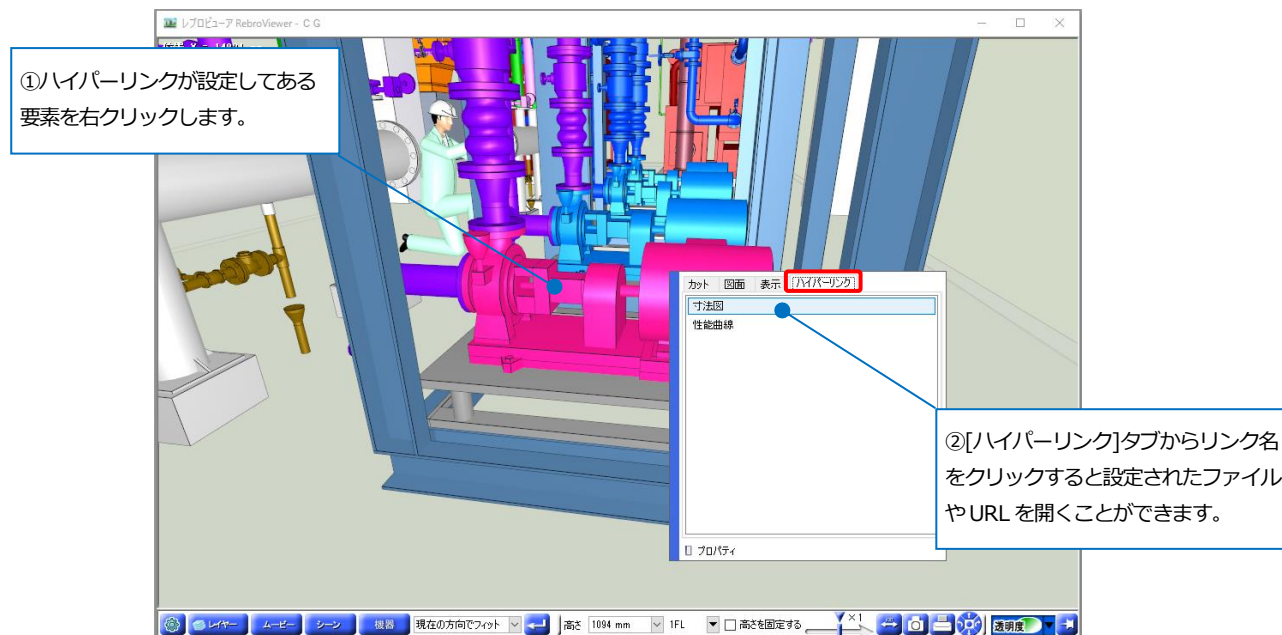


②選択した部材が見える位置に画面が移動します。



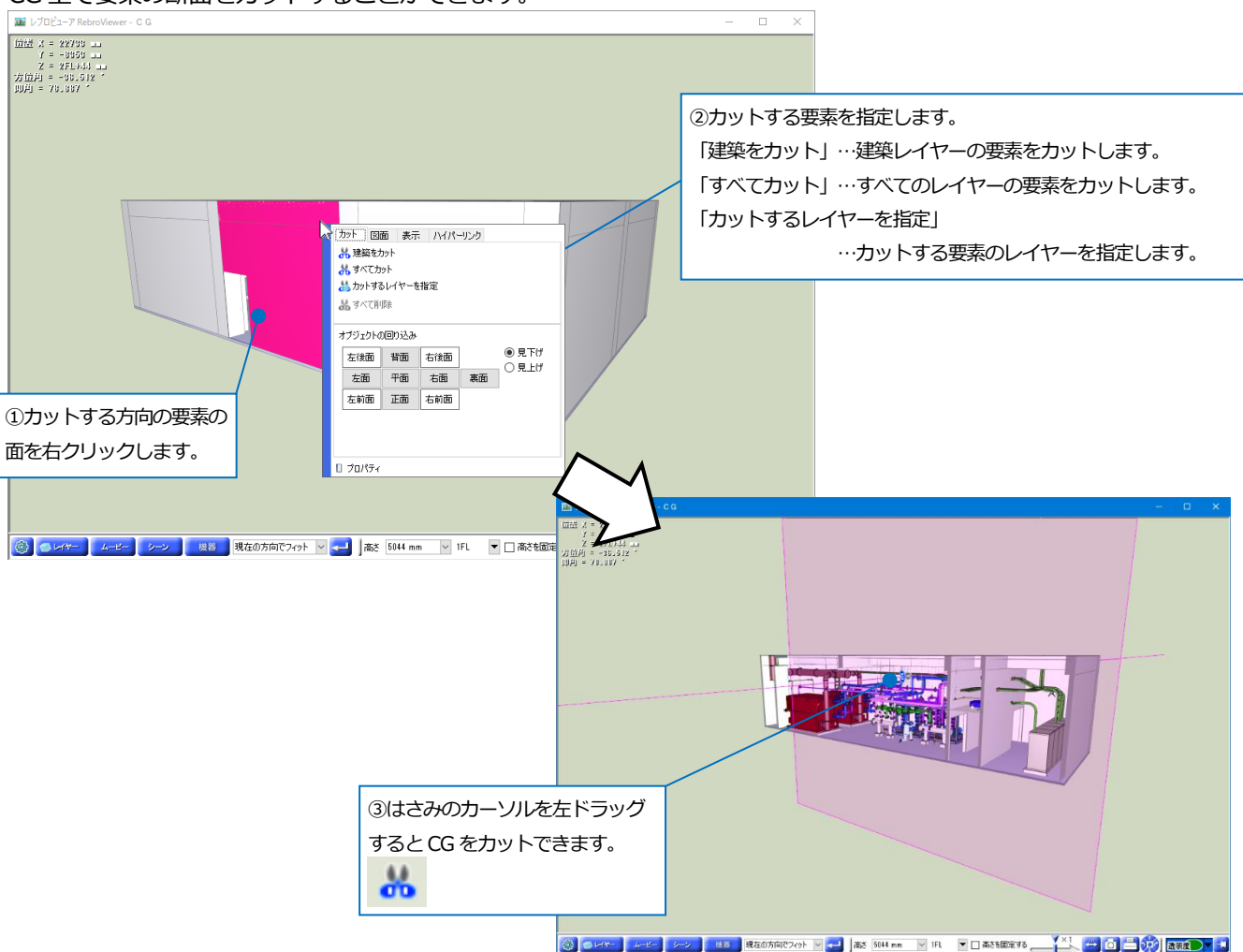
ハイパーリンク

ハイパーリンクを設定している機器は、CG 上でリンク先のファイルや URL を参照することができます。



断面カット

CG 上で要素の断面をカットすることができます。



設定

[設定]  で、CG 画面上での表示、動作の設定ができます。

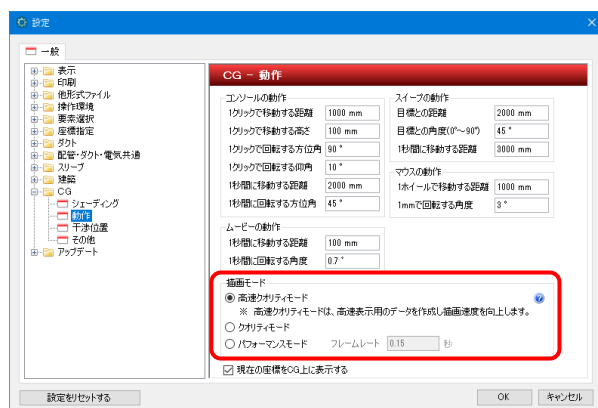


「描画モード」について

「高速クオリティモード」…クオリティモードの画質を保ちながら描画の途中でも画面の移動ができます。

「クオリティモード」…全ての要素を表示してから画面の移動を行います。

「パフォーマンスモード」…画面描画の途中でも画面の移動ができます。



5.印刷

印刷

レブロ図面の印刷をすることができます。

①[印刷]をクリックします。

②プリンタを選択します。

③[出力設定]で印刷時の色と部数を選択します。
「印刷スケールに合わせて線種、太さを変倍する」のチェックを外すと、印刷スケールに関わらず作図時の線種、太さで印刷します。

④[用紙設定]で印刷する用紙サイズ、印刷方向を選択します。

⑤[印刷スケール]で図面の拡大率を選択します。

⑥[印刷]をクリックします。

[印刷範囲の変更]を選択すると、図面に戻り、マウスで印刷サイズと位置を指定します。

[ペン設定]で、印刷時に縮尺ごとの線太さを変更して印刷することができます。

縮尺ごとの印刷太さ

図面上の太さ

太さ	備考	～1/10	1/20	1/30	1/50	1/100	1/200	1/300	1/400	1/500	1/600	1/601～
0.01mm	建築図や汎用...	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
0.05mm		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
0.07mm		0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
0.09mm		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
0.10mm		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.13mm		0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
0.15mm		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
0.18mm		0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
0.20mm	複線表現の配...	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

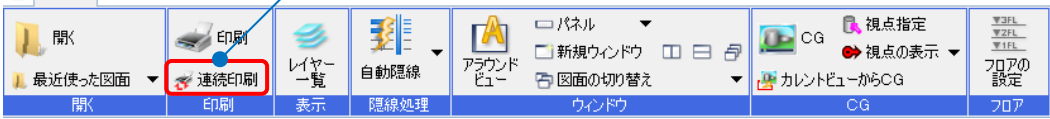
選択した項目を 1.5 倍 する 実行

リセット OK キャンセル

連続印刷

複数のレブロ図面のレイアウトをまとめて印刷することができます。

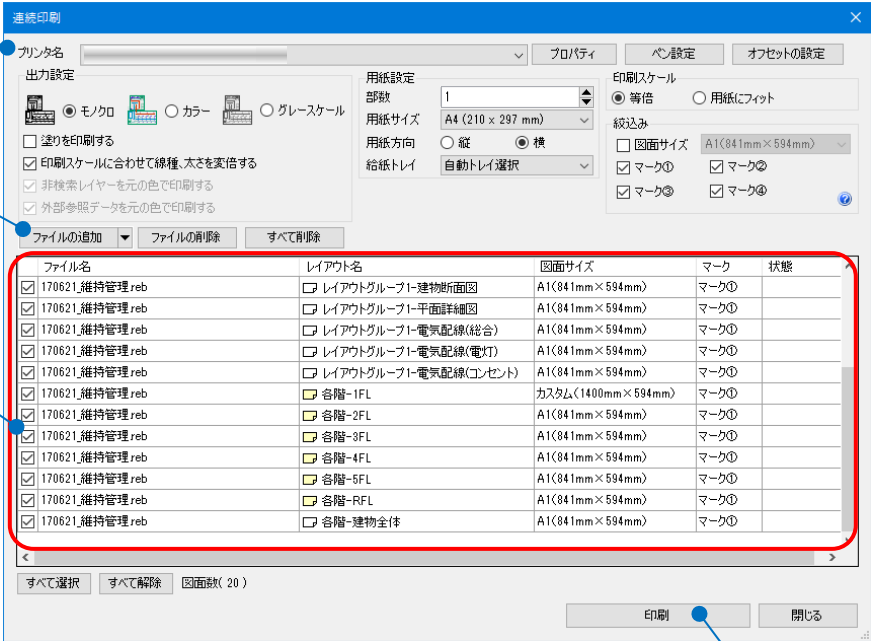
①[連続印刷]をクリックします。



②プリンタを選択します。

③[ファイルの追加]で複数の図面ファイルを選択します。横の[▼]からフォルダを指定して図面ファイルをまとめて選択することもできます。

④印刷するレイアウトにチェックを入れます。



ファイル名	レイアウト名	図面サイズ	マーク	状態
☒ 170621_維持管理.reb	☐ レイアウトグループ1-建物断面図	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ レイアウトグループ1-平面詳細図	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ レイアウトグループ1-電気配線(総合)	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ レイアウトグループ1-電気配線(電灯)	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ レイアウトグループ1-電気配線(コンセント)	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-1FL	カスタム(1400mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-2FL	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-3FL	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-4FL	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-5FL	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-RFL	A1(841mm×594mm)	マーク①	
☒ 170621_維持管理.reb	☐ 各階-建物全体	A1(841mm×594mm)	マーク①	

⑤[印刷]をクリックします。

RebroViewer ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社NYKシステムズ(以下「弊社」)は、お客様がこの「ソフトウェア使用許諾契約」(以下「本契約」)に同意する場合に限り、弊社ソフトウェア製品(以下「本ソフトウェア」)の使用権を許諾します。

本契約を表示するダイアログに示される[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、本ソフトウェアをインストールすることをもって、お客様は本契約を締結することに同意したと見なします。お客様が自身のために本ソフトウェアを取得する場合は、弊社とお客様個人との間で成立し、お客様が企業またはその他法人のために本ソフトウェアを取得する場合は、弊社と企業またはその他法人のいずれかとの間で成立します。

第1条 本ソフトウェアの使用権

1. お客様は本ソフトウェアを複数のコンピュータにインストールし、使用することができます。
2. お客様は本ソフトウェアの複製物を作成し、頒布することができます。この場合、本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権表示を含んで複製するものとします。

第2条 権利の帰属

本契約で明示的に定められていない限り、本ソフトウェアの権利(権原、所有権、著作権およびその他の知的所有権等)は、弊社が保有します。本ソフトウェアは、著作権法によって保護されています。

第3条 お客様の義務

お客様は、本ソフトウェアが著作権法等によって保護される無体財産権を含む機密情報または財産的情報を有することを認識するとともに、次の行為をしないものとします。

1. 本契約条項に定める条件以外の条件により、本ソフトウェアを使用、複製する行為
2. 本ソフトウェアを改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルする行為
3. 本ソフトウェアを第三者へ販売、賃貸する行為
4. 本ソフトウェアに記録または表示されている所有権および無体財産権の権利表示を除去、削除または変更する行為

第4条 無保証

弊社は、本ソフトウェアを原状のまま提供します。弊社は、法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示または黙示の保証責任および本ソフトウェアに起因するお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害、データ等に対する損害および無体財産権に関し第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求にもとづく賠償責任等の一切の責任を負いません。

第5条 使用権の消滅

1. お客様はいつでも本ソフトウェアの使用権を消滅させることができます。
2. お客様が次の事由に該当した場合、本ソフトウェアの使用権は自動的に消滅します。
 - ① お客様が本契約条項に違反した場合
 - ② お客様が異なるバージョンの本ソフトウェアの使用権を取得した場合

第6条 使用権消滅時の措置

お客様の本ソフトウェアの使用権が消滅した場合、お客様は本ソフトウェアおよびそれらの複製物すべてを抹消または破棄するものとします。

第7条 サポート

本ソフトウェアに関するお問い合わせ、ご質問には応じかねます。

RebroViewer 操作ガイド 〈 2019 年 12 月 17 日 第 12 版 〉

「Rebro」は株式会社NYKシステムズの登録商標です。「Rebro」及び「RebroViewer」は株式会社NYKシステムズの著作物であり、「Rebro」及び「RebroViewer」にかかる著作権、その他の権利は株式会社NYKシステムズに帰属します。本製品の一部または全部を複製、改変することはその形態を問わず禁じます。

Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。InfPoints®は株式会社エリジオンの登録商標です。みつもりくん®は株式会社コンプケアの登録商標です。Revit®はオートデスク株式会社の登録商標です。Luminous Planner™はパナソニック株式会社の商標です。DK-BIM はダイキン工業株式会社の登録商標です。SpiderPlus®は株式会社レゴリスの登録商標です。その他の製品名は各社における登録商標、または商標です。設備CADデータ交換仕様“BE-Bridge”および、設備機器ライブラリデータ交換仕様“Stem”は、一般財団法人 建築保全センターの著作物です。 本製品は、Open Design Alliance の「Teigha®」(Based on Teigha® from the Open Design Alliance.)、RDF Ltd.の「IFC Engine™」、アドバンスソフトウェア株式会社の「VB-Report 7」、Tracker SoftWare Products の「PDF-XChange PRO SDK」、CodePlex の「DotNetZip Library」、XLSOFT の「SpreadSheetGear®」をそれぞれの再配布条件に基づき使用しています。 本製品には清水建設株式会社の許可の下、特許出願中の技術(特開 2015-162130)が使用されています。 本製品にはデータ提供の契約書もしくは覚書に基づき、TOTO 株式会社、株式会社 LIXIL から提供を受けた形状データに、弊社で属性情報を付け加えた部材が含まれています。形状データは外形上の特徴を損なわない範囲でデータ容量の軽減を行っております。